

鈴と小鳥の会は、東日本大震災翌年から始まった、ちひろさんの5年間の復興応援コンサートをきっかけに設立されました。復興応援コンサートでは、金子みすゞさんの詩、ちひろさんのメロディー、歌声に人が人を思う気持ち、寄り添う心が、とても大きな力、励ましになることを実感しました。みすゞさん、ちひろさんとの出会いを大切に、毎月の定例会では、みすゞさんの詩を学び、年1回のちひろさんのコンサート開催を楽しみに活動しております。

コンサートが開催できることに感謝しつつ、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



ちひろ

シンガーソングライター・ラジオパーソナリティ

金子みすゞの詩に作曲し歌い語るメッセージシンガーとして、全国各地や海外で公演活動を行っている。2023年度の金子みすゞ生誕120年企画として、KRY「熱血テレビ」今伝えたいみすゞの心」のレギュラーを担当。

NHK横浜放送局のラジオ番組テーマ曲、NHK旭川放送局の番組BGMを作曲。小学校や高等学校の校歌、CMソングなども制作。

広島東洋カープの公式試合(マツダスタジアム)にて国歌斉唱を務めた。

東日本大震災の翌年から5年間、福島県内外35か所で復興応援コンサートを行う。FCT福島中央テレビ「ゴジてれChu!」にゲスト出演し、スタジオで生歌を披露。TUFテレビユー福島、rfcラジオ福島、ふくしまエフエム、ココラジなどのメディアにも数多く出演。

山口県山口市出身 山口セタふるさと大使

《レギュラー番組》

NHK中国5県放送「中国!ちゅーもく!ラジオYAMAGUTIC」

KRYラジオ「ちひろDEブレイク」

コミュニティFM全国放送「みすゞさんと明るいまほうへ」

◆第7回日本放送文化大賞ラジオ部門準グランプリ受賞
エフエム山口「こだまでしょうか〜今、金子みすゞの心を聴きたい〜」

パーソナリティ ちひろ

金子みすゞを歌って20周年



写真提供：金子みすゞ著作保存会

金子みすゞ

童謡詩人

本名金子テル。明治36(1903)年、山口県大津郡仙崎村(今の長門市)に生まれる。大正末期から昭和の初期にかけて、すぐれた童謡詩を発表し、西條八十に「若き童謡詩人の中の巨星」とまで称賛されながら、昭和5(1930)年、26歳の若さでこの世を去った。童謡詩人・矢崎節夫の長年の努力によって512編の遺稿が見つかり、没後50余年を経て、全集として出版された。平成15(2003)年4月には、みすゞ生誕100年を記念して、ふるさと長門市に「金子みすゞ記念館」が開館。

ちひろ
ア
ニ
バー
サ
リ
ー
コ
ン
サ
ー
ト

鈴と小鳥の会

会員募集中!

鈴と小鳥の会は、「金子みすゞ」の詩から、命を尊び慈しむ心を学ぶとともに、金子みすゞの心を歌うシンガーソングライター「ちひろ」のコンサートの開催を通し、誰もが温かい気持ちで暮らせる地域作りを貢献することを目的に、平成29年4月に設立された市民の会です。ちひろさんは、東日本大震災以降、「みんながって、みんないい。」に代表される金子みすゞの心とともに被災地に寄り添い、ボランティアとして、県内外全35回の復興応援コンサートを行いました。その後、金子みすゞの詩や、ちひろさんの清らかな歌声に、大きな力と感動をいただいたコンサートの継続を願う声が多く、定例会、コンサート等で、金子みすゞのまなざし、ちひろさんの想いを共有し、活動を始めました。

只今会員募集中です。定例会に直接おいでいただいても結構です。定例会は、*毎月第1木曜日13:30~*場所は、郡山市総合福祉センターです。

携帯・SMS[佐藤]090-9532-5021
電話・FAX[草野]024-932-8414

